

(様式3-1)

## 令和2年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体	特定非営利活動法人Rinかごしま	
実施事業名	特定非営利活動法人Rinかごしま	
団体代表者	理事長 今村 葉子	
事業の目的	地方では陽性者支援の機関がなく、就労、生活全般、医療機関に頼らざるを得ない状態である。陽性者の抱える問題は陽性者だけにしか理解、解決できない部分が大いと思われ、当事者の孤立感をなくすべき居場所が必要と感じる、安心して暮らせるサポートシステム、HIV/AIDSの偏見をなくす予防啓発の講演、性感染症・性教育等を行っていく。	
事業の達成度	今季コロナ禍のため講演活動、研修等ほとんどで中止となったが、離島(徳之島)での出前研究会を保健師、養護教員等を対象に行った。離島での支援の必要性を強く感じた。今後の課題を含め60%程度の達成度ではないかと思う。	
事業実績	対象となった人数 (実質)	109人
	具体的な活動内容	①毎週日曜日の電話相談 ②ぴあ交流会 35名 ③志学館大学主催 7/6(月) 32名 「今、伝えたいこと ～自分を守ることの大切さ～」多様な性・HIV/AIDSを学ぶ ④鹿児島県エイズ対策連絡協議会参加 8/20(木) 12名 ⑤徳之島出前講座 徳之島保健所主催 3/25(木) 30人 「21世紀を生きる君たちへ」～性の多様性と性感染症について～ ⑥国際エイズ学会・HIV/エイズ基礎研修会(大阪) 7月 今村麻由子参加
活動の様子		※イベントまたは成果物などが分かる写真や説明書き、また団体ホームページ等のURLを掲載してください。
		②ぴあ交流会 コロナの為対面できてない方もいるが、新たに二人のメンバーが加入して親睦を深めている。もうすこし早くRinかごしまの存在を知っていればもっと早く楽になったとの声があった。 (交流会は不定期開催ではあるが、花見を予定していた。が雨のため急きょ事務所での花見交流会となった。その時の写真)
		③志学館大学講座 人間学専攻2年生の生徒への抗議 当事者からのメッセージを下に、マイノリティの理解、偏見やスティグマなどについて考えてもらった。 (当時のパワーポイントの資料一部添付します。)
		⑤徳之島への出前講座 保健師、養護教師は初めてのエイズ研修で質問も多く多様性やエイズの理解が深まったと感じられる。 (当時のパワーポイントの資料、写真を添付します。)